

[参考事項]

成果情報名：液状亜リン酸肥料の葉面散布によるダイズ茎疫病に対する被害軽減効果

研究機関名 農業試験場生産環境部病害虫チーム

担 当 者 齋藤隆明・渡辺恭平・他2名

[要約]

ダイズの6葉期に、液状亜リン酸肥料500倍液100L/10aを葉面散布することで、ダイズ茎疫病による被害を軽減することができる。

[キーワード]

ダイズ茎疫病・ダイズ・液状亜リン酸肥料・被害軽減効果

[普及対象範囲]

県内全域

[ねらい]

ダイズ茎疫病（以下、茎疫病）は県内で広く確認されており、本病に対する防除対策として、排水対策等の耕種的防除や種子塗沫による薬剤防除が実施されている。近年、農薬に頼らない防除方法が注目されており、亜リン酸肥料の散布がダイズ茎疫病による被害を軽減することが報告されているが（前川、2007）、検討した事例は少ない。

そこで、ダイズ茎疫病に対する液状亜リン酸肥料の被害軽減効果を検討した。

[成果の内容及び特徴]

- 1 ダイズの6葉期に液状亜リン酸肥料500倍液100L/10aを葉面散布することにより、茎疫病による被害を軽減することができた（図1）。
- 2 液状亜リン酸肥料の葉面散布による葉焼け等の障害は確認されなかった（データ省略）。

[成果の活用上の留意点]

- 1 供試した液状亜リン酸肥料は、商品名：サンカラー（N：P₂O₅：K₂O＝0：28：26）である。
- 2 液状亜リン酸肥料は、所定の希釈倍数に調製し、背負式バッテリー噴霧器（MSB-1500Li 丸山製作所）を用いて散布した。
- 3 ダイズ品種は「リュウホウ」を供試し、クルーザーFS30を塗沫した種子を試験に用いた。
- 4 本技術を活用する場合、明きょや暗きょ、サブソイラーによる排水対策などの耕種的防除を組み合わせることが基本となる。

[具体的なデータ等]

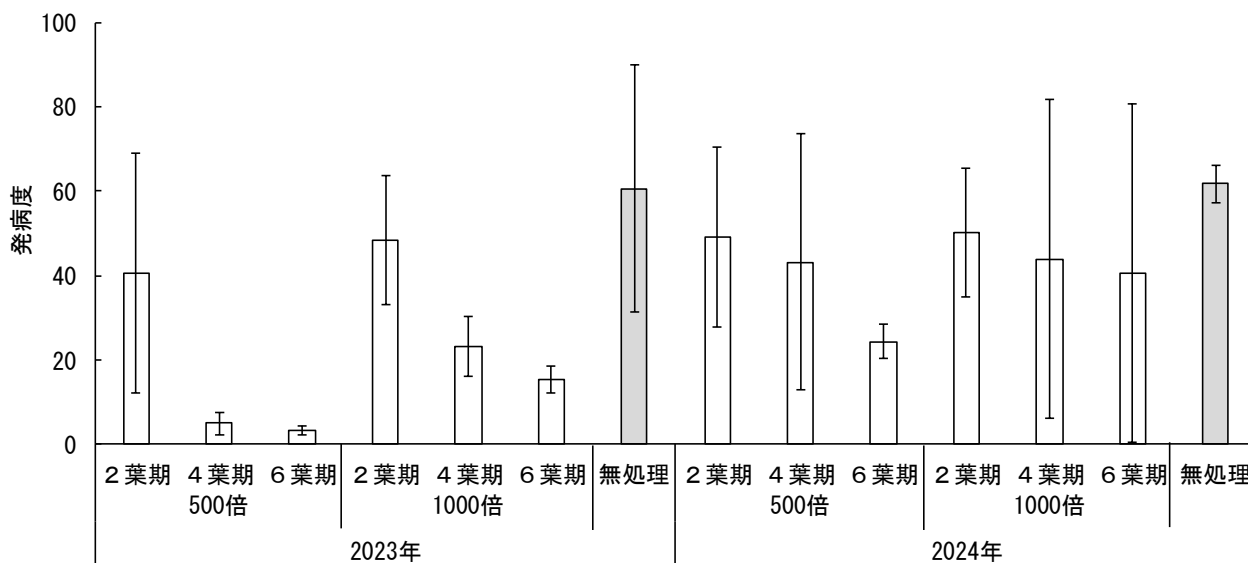


図1 ダイズ茎疫病に対する液状垂リン酸肥料の被害軽減効果（2023年、2024年）

1) 試験データは3反復の平均値。

2) エラーバーは標準偏差。

※試験の概要

- ・試験場所：現地ほ場（秋田市雄和）、茎疫病の発生履歴あり
- ・播種日 2023年：6月15日、2024年：6月11日
- ・栽植距離 75cm×20cm 2粒播き
- ・薬剤散布：2葉期、4葉期、6葉期のいずれかに液状垂リン酸肥料の希釈液を100L/10a散布
- ・薬剤散布日 2023年：（2葉期）7月7日、（4葉期）7月14日、（6葉期）7月22日
2024年：（2葉期）7月2日、（4葉期）7月11日、（6葉期）7月18日
- ・調査日：2023年9月19日、2024年9月20日

※発病度

$$\text{発病度} = (\sum \text{発病指数} \times \text{基数}) \times 100 / (\text{調査基数} \times 4)$$

指数0：発病なし、指数1：茎に病斑があるが萎凋していない、指数2：地上部の1/3以下が萎凋

指数3：地上部の1/3～2/3が萎凋、指数4：地上部の2/3以上が萎凋・枯死

[その他]

研究課題名：あきたの魅力ある水田農業確立対策事業、水田農業生産性向上緊急対策事業

研究期間：令和4年度～令和6年度

予算区分：配当

掲載誌等：第78回北日本病害虫研究発表会